

東久留米市立南中学校 第3学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価(◎、○、●)
国語	・書くことに対する苦手意識はなくなったが、長文の内容を更に充実させて書かせるようにする。	・俳句の鑑賞文や小説の感想文や意見文等、多くの長文や短作文を書かせ、発表させる。	◎意見文(スピーチ発表)や感想文を書かせ、内容の向上を目指していく。(2学期2回以上)
社会	・権利などに関わる用語を間違えて覚えている生徒が多く見られる。 ・歴史に関わる用語を別の用語と間違えて覚えている生徒が見られる。	・用語を模式図や一覧表にして表わす活動をできるだけ多く取り入れる。 ・用語を年表や模式図に表わす学習活動を多く取り入れる。	◎模式図や一覧表で表わす作業を取り入れた授業を実施する。(2学期2回以上) ○年表、図で表わす作業を取り入れた授業を実施する。(各学期1回以上)
数学	・文章問題についての読み取りに課題がある。	・読み解く力の問題や文章を読み取って考えていく問題を課題として出していく。	◎90%以上の提出を目指し、継続的に添削し指導していく。
理科	・1、2年の学習内容が定着していない生徒が見られる。 ・定期テストにおける思考力を問う文章問題の正解率が改善されてくるが、他の観点と比べると低い。	・ワークシート、問題集などを活用し、1、2年の学習内容を復習する授業を行う。 ・授業中に思考力を使う問題や読み解く力を必要とする課題に取り組みせる。	◎1、2年の学習内容に関するテストを行い、正答率60%以上を目指す。 ○授業中に取り組んだ問題を応用したものを定期考査で出して評価する。正答率70%以上を目指す。
音楽	・音楽から感じ取ったことを言葉にして話したり、文章にしたりする力(作文力)に個人差がある。	・ワークシートの発問を工夫し、個人の考えや思いを記入してから、ペアや小グループ、学級全体での発表や話し合い活動へと共有の場を広げていく。	◎表現活動に思いや意図をもち、表現する機会を設け、生徒50%以上が音楽の良さを味わうことを目指す。
美術	・テーマがあっても、短絡的な解釈だけで作品をつくる生徒がいる。	・リサーチや鑑賞を通して、テーマについて掘り下げる時間を取る。	◎試作や作品のコメントから、テーマを深く掘り下げようとした生徒が80%を超えることを目指す。
体育健	・合理的な体の動かし方を身に付け、実践する力が不足している。	・視覚教材を活用して、手本になる動きや、自分の動きを客観的に見ることを通して学ばせる。	◎学習カードの記入状況や評価テストを実施して検証し、運動の特性をおおむね理解できた生徒が、80%を超えることを目指す。

技術	・コンピュータの利用への興味・関心は高いが、基本的な操作を理解できていない生徒もいる。	・保存の手順などをまとめたプリントを用意し、作業の質を向上させる。	◎作業の振り返りにおいて、基本的な操作を身に付けた生徒を80%以上にする。
家庭	・積極的に発言をする生徒は多く、意欲的に実習にも臨んでいる。持ち物や提出物について、指導する必要がある生徒がいる。	・声掛けや師範を行うことで、やり方を学び、取りかかり易くする。	◎作品未完成の生徒を出さないようにし、全員が満足できるようにすることを目指す。
外国語	・文法的な知識が不十分で、自分の意見や考えを英語で正しく表現することができない。	・穴埋めの問題や、並び替えの問題を出して、多くの単語を正しく並べたり書いたりできるようにする。	◎毎週ワークシートを課題として出し、その都度必ず添削していく。
科特別の徳教	・発問に対して、周りの意見を踏まえた自らの考えを表現することが苦手な生徒がいる。	・ワークシートの活用など通して、相手の意見を踏まえた自分の考えを表現する機会を多くする。	◎ワークシートなどで評価する。5割以上の生徒が相手の意見を踏まえた自分の考えを表現できる。
の総合的な学習	<p>・一部の生徒は、グループ内の話し合いに消極的な部分がある。</p> <p>・プレゼンテーションについて、どのようにまとめれば良いか苦戦している生徒がいる。</p>	<p>・総合的な学習の時間を、何のために行うのか目的意識をもたせる。</p> <p>・プレゼンテーションでは、見る人、聞く人を意識したまとめになるよう、助言する。</p>	<p>◎全員の生徒が、まとめや発表ができる活動場面を取り入れる。</p> <p>◎全員の生徒が、まとめや発表ができる活動場面を取り入れる。</p>